

<b>授業科目名</b>	公衆衛生看護学方法論 (2300252)		
<b>時間割名</b>	公衆衛生看護学方法論 (43210)		
<b>時間割担当</b>	三浦康代 吉水清 井上葉子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	木・3		

### 授業の目標・概要

公衆衛生看護活動の対象となる集団の特性をライフステージから理解し、各ステージ特有の健康課題を把握する基礎的知識を習得する。また、保健師の行う保健指導の方法論を学び、個人・家族・集団を対象にした健康問題の解決を目指した看護介入の実際と技術を学び、実践する基礎的知識を身につける。また、地域において展開される成人保健活動において、健康課題を把握するために必要となる基礎的知識を習得する。

### 学習の到達目標

1. ライフサイクルにおける保健施策および保健師の役割を理解する。
2. 保健指導の目的・相談対応技術・教育対応技術を学ぶ。
3. 個人・家族・集団・コミュニティを対象に展開する支援方法について理解する。
4. 演習を通して基本的な保健指導技術を学ぶ。

### 授業方法・形式

講義（一部演習）

### 授業計画

- 第1回 保健指導の基本：保健指導の基本技術
- 第2回 公衆衛生看護における技術：公衆衛生看護に求められる技術および能力
- 第3回 保健行動理論
- 第4回 母子保健指導1：母子保健施策と保健師の活動
- 第5回 母子保健指導2：乳幼児期成長・発達と保健指導
- 第6回 成人保健指導1：成人保健活動の理念
- 第7回 成人保健指導2：成人保健施策と保健指導
- 第8回 高齢者保健指導1：高齢者保健活動の理念
- 第9回 高齢者保健指導2：福祉施策と保健師の活動
- 第10回 高齢者保健指導3：高齢者の生活特性と保健指導
- 第11回 地域精神保健活動：精神障がい者の生活特性と保健師の活動
- 第12回 感染症保健指導：感染症発生時の保健師の活動
- 第13回 難病保健の動向
- 第14回 障がい児の保健指導
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

定期試験50% 小テスト40% 授業への参加度10%

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

毎回授業の冒頭で小テストを行います。必ず前回学習した内容について復習しておくこと。

### 履修上のアドバイス及び留意点

保健指導等において対象集団のライフステージ特有の健康課題を把握するためには、今まで学んだ解剖生理や領域別看護の基礎知識が必須です。また、保健・医療・福祉等、社会の動きにも目を向けていっしょに考えましょう。

### 教材・教科書

- 『標準保健師講座2』 医学書院
- 『標準保健師講座3』 医学書院
- 国民衛生の動向 2016/2017 厚生労働統計協会

### 参考書